

Leadership

What is your leadership challenge? リーダーとして活躍する上での挑戦は何ですか。

NOBURO HAGIWARA APR 20, 2019 08:20PM

Leadership

いままでの学校（社会）は経済成長（結果/数字）という目的（ゴール）を共有できていたのではないかな？
その社会ではTraditional Leadershipを持った教師（人）により、より良い改善が行われてきたのではないだろうか。
むしろ、それこそが学校の役割（役目）であった時代もあったのではないのでしょうか。

しかし、現在は「同じ」であることよりも「違う」ことに価値が見出され始め、学校は共通の目的（ゴール）を目指すための訓練の場ではなくなり、役割や価値を大きく変える必要があるのではないのでしょうか。

そんな変革期の学校（社会）においてはTraditionalな手段からTransformationalな手段へと変化する必要があるのではないのでしょうか。

Steve Jobsは「海軍に入るより、海賊であれ」という名言を残しています。今まさに私たち教員はこの精神をもって教育という海原に漕ぎ出す必要があると思います。
私の大好きな曲の一つに、Paul SimonのAmerican Tuneがあります。ミスを犯し、戸惑い、痛めつけられ、打ちひしがれても、立ち上がり、まだ見ぬミライを求めて漕ぎ出したアメリカの父たちの姿を、なぜか自分に重ねてしまいます。
本日の学習会でマタイの一説が出たときに、ふと頭の中に強烈にメロディーが流れました。

私はまだまだBe A Pirateなのかな...とも思いますが、それでも気づいてみれば、様々な人の縁でPiratesになってきているのかなとも感じています。

前段のJobsとはちょっと違うんですが、暗いんですけど、勇ましいだけがリーダーでなくて聴くと元気が出るということ
で。 — NORIYUKI KOIKE

すべての人がやりがいのある、やっていて楽しい環境づくりを心がけています。
また、失敗を恐れず、常にチャレンジしていく組織にしていきたい。

自分が知らないことを知りたいと思う欲求にあること。知らないことを恐れず、自分が無知であることを自覚できること。

自分の欠点を

あけすけに語る必要はなくとも、自分の弱みや欠点を理解し、認められること。

リーダーシップとは、そのひとがリーダーシップがあるぞーと決めるということよりも、周りがある人にリーダーシップがあると決めることではないかと思った。つまり、周りの人がきめるということである。

つまり、

- ・この人の言っていることや考えなどを聞いてみたいと思わせる人。であったり、
- ・この人の見ている夢と一緒に実現したい!と思わせるような人であると思う。

それに付随するものとして、

- ・人間力 人間性 背中で語る
- ・コミュニケーション力
- ・聞く力
- ・学び続ける力
- ・変化し続ける力

などがあると思うが、言葉にできないほどのものがたくさんあると思う。

さらに、その人の個性によってもそれらは異なると思う。

どうやって伸びれば良いのかをガイドできること。あるいは自分がガイドするのではなく、導ける人のところへ繋げられること。

挑戦

教職員や生徒の中に入って行く。行って行ってよう観察する。そこから言葉と考え方、物語を生み出す。

ポジティブな提案ができること。具体的にどうすればうまくいくのかを一緒に考えられること。

人が好き。

チームメンバー全体に気を配り、成長を目指す。それがより良いゴールに向かうことになる

相手のやっていることに興味・関心を持つこと、面白がって価値づけること。

Frances Namba

Thank you for an informative and inspiring workshop. My hope is that it will give me the confidence to try new things and improve some of the outdated or inefficient systems we have in our workplace. I have to work hard on presenting the WHY to make people want to take on different ways of thinking and doing. I hope I can participate in another workshop with you again. Thank you!

Yoneda

Traditional Leaders to Transformational Leaders

変化を恐れない

リーダーシップ

「余裕」がないことがうまくいかない大きな原因になっているような気がします。

リーダーシップを発揮できる、してほしい人はそれなりにいろんな役が当たっていて「余裕」がない。力を発揮してほしいと思える人に限って色々な業務が降りかかっている「余裕」がないように感じます。

4月新年度だからでしょうか？

そのあたりの業務の精選であったり偏りの是正であったりうまく「管理運営」する管理者が必要なのだなと思いました。

管理者のイメージはよくありませんでしたが、リーダーがその力をチームの為に発揮できるようにチームの通行整理をするのがマネジメントであり管理者なのではないかなと思いました。

だから

リーダーとして活躍する上での挑戦は、リーダーにリーダーとしてのタスクを優先してできるように管理者にきちんと仕事をしてもらうことですかね。

管理者のお手伝いをする人をうまく育てるのも大切なのかもしれません。

Akihiro Kotoh

仕事上決められた通りに行くだけでなく、自分自身が正しいと信じることにもとづいて、教育活動を変革していくこと。

hideki imada

生徒を信じる、成長・気づきを待つ

人を信じる、巻き込む、楽しむ

自分の価値観、経験則、固定観念、既成概念、哲学を脅かすものを受容する

～のせいと思わない

違いを楽しむ、変化を受け入れる

弱い自分を自覚する、無知の知

自分自身をアップデートし続ける

他者をリスペクトする

言葉にする力

言葉にする力。その状況を観察し、その状況を踏まえて「言葉にする力」（「言葉」だけでなく姿勢や考え方、雰囲気まで含めて）→世界の見え方までを変える「言葉」（パフォーマンス）を生み出す力を研ぎ澄ます。

時間がない中でも、人を信頼し、全員で創り上げる心を常に持ち続けること。そのことによって、自分が想像していたよりも、大きなものを創り上げられると信じ続けること

inspiration

リーダーにはinspirationを生み出し、心を動かすことができる言葉を選ぶために教養が必要だと思いました。たくさんのartに触れることで、自分が受容できるものの幅が広がり、寛容さにつながるのではないのでしょうか。

Kentaro MATSUI

Happyな雰囲気をつくりたい!

root causesを話し合える余裕をつくりたい。

Ongoing Feedbackが出来る人になりたい。

教養

Hirata

これまでの管理職に対してなぜ不満があったのかという疑問が少し解けた気がします。それはManagerとLeaderが同一として捉えられており、さらにLeaderの細分化もされていないからだと思います。自分がこれから何のリーダーとして仕事をして

いくのかを決定し、そのための専門知識を習得する必要があると改めて感じました。

Teachership?

「Sportsmanship」はスキルに関わらず、全ての人が持つべきものであるという認識がされているのに対して、

「Leadership」はいわゆる特定のリーダーが持つべき資質（スキル）であるように思われる傾向があるのではないかと感じています。

しかしながら、「(様々な形態での) Leadership」は全ての人を持つべきはないかと私は考えています。いわゆるリーダーだけが持つ資質ではないと思うのです。

では、我々が持つべき資質（スキル）としての

「Teachership」があるとすれば、それは何でしょうか？

===

学ぶ、共有する、影響し合う、能力を高める

===

つくるひとを増やす

===

何か新しいことをというよりは、いま感じていること、やりたいこと、やろうとしていることを継続しようと思います。

Ryuhei Okamoto

・教員に対して、多くの人々が「参加したい」「やりたい」「おもしろい」と思ってくれるような場面（workshop）をつくる。でも、絶対に強要はしない。

自分が考えるLeadershipの資質→今まで無かったもの、価値観を受け入れる・すぐに修正できる・人に責任を与えられる（場を整える、提供できる）

リーダー

・進化・変化にときめく

人は、

・Lifelong learner

であって、それをチーム・コミュニティで実現するために

・Yes! And・・・

でコミュニケーションをとり、

・アイデアに化学反応を起こし、進化を促す。

そのサイクルを作ること。

そしてそれは

・利他

につながり、マズローの五段階欲求+αが実現した結果である

「幸福」を生み出す。

チームにはOF・DFの両方が必要。

OFは新しい価値を生み出すこと。

「人は喉が乾かないと水を飲まない」これはチームでも教育でも同じではないか。水にはもう1つあり、次のステップは「美味しい水があることを知らなければ、飲みに行かない」

新しい価値とは、「美味しい水」だと思う。

一現実的な明日からの一歩一

より多くの人に発信をする

意思決定者へのより迅速なリーチ

→つまり、頭の固い人を説得する。

見てみたい未来を見続けること

あらゆる選択、行動がきっとそのためだと思うので。

向かいたい方向がイメージできなければ、進むべき方向は見つからない。

向かいたい方向が見つかったら、そのための方法を考えるようになる。

ブレない強さが必要な時があれば、受け入れる寛容さが必要な時もあるのかなあ、、、と思います。

寄り添うことも議論することも、何というか、、、嫌な意味ではなく、自分が見てみたい未来があり続けてるからだだと強く思いました。

ありがとうございました！

他人に対するリスペクト
